

令和6年度
「未来の教室」実証事業

最終報告書
別冊 マニュアル



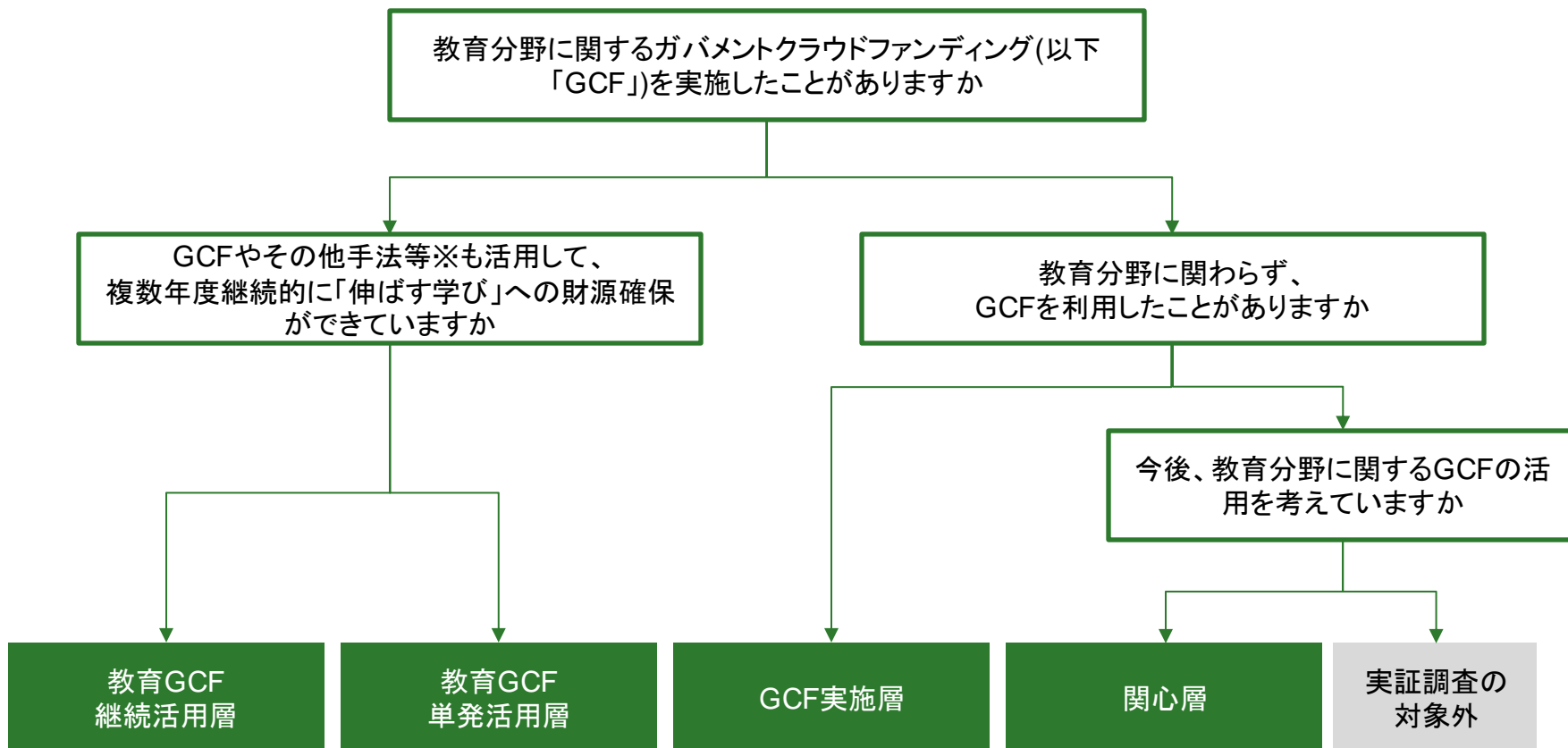
ふるさと納税を活用した
教育資金獲得における自治体類型化と
教育事業創出支援

株式会社 トラストバンク

- P3. はじめに
- P4. 自治体のGCFの活用状況における分類チャート
- P5. 自治体のGCFの活用状況における4分類
- P6. 自治体のGCF活用ロードマップ
- P7. 自治体のGCF活用における5ステップ
- P8. ステップ0. 検討（長野県白馬村様実証より）
- P9. ステップ1. 政策立案
- P11. ステップ2. 庁内調整・予算編成
- P14. ステップ3. ページ作成とPR戦略
- P17. ステップ4. 政策実施

- 株式会社トラストバンクは、2024年度の経済産業省 教育産業室「未来の教室」実証事業にて、教育におけるGCF※の活性化に向け、GCFの取組状況に関して一部の自治体に調査を行った
- 調査の結果、自治体のGCFの活用状況に関して、4つの層に分類でき、分類共通の悩みと、各分類に特徴とされる悩みが存在していた
- 各層の悩みを乗り越えるプロセスは一定程度順序だてて説明できることから、今回の実証フィールド(白馬村)での伴走支援の知見を中心としつつ、教育におけるGCF活用の先進地域のヒアリング等での様子を含めて、教育におけるGCFの活用ロードマップを作成し、取組推進に向け乗り越えるポイントを整理した
- (注意点) 本資料でまとめられている結果は、全自治体の状況を網羅的に投影しているものではない点に留意いただきたい。調査に活用したデータは、トラストバンクのGCFセミナーに参加したうち46自治体の回答(アンケート)、神奈川県鎌倉市、京都府京丹後市、愛知県日進市、鹿児島県徳之島町へのヒアリング、そして、トラストバンク・プリマペンギーノによるこれまでの自治体支援経験を通じた知見によるものである

※GCF(ガバメントクラウドファンディング): ふるさと納税制度を活用して自治体が行うクラウドファンディング



※基金設立、ふるさと納税の用途への追加、一般寄附、遺贈寄附の受付、ファンド設立等

自治体のGCFの活用状況における4分類

分類	自治体の状況定義	課題
教育GCF 継続活用層	教育分野に関するGCFを実施したことがある（伸ばす学びに活用）、GCFやその他手法を活用して継続的に資金を確保できている	<p>■伸ばす学びにおける資金不足</p> <p>↳8自治体中5自治体が「伸ばす学びにおける資金が不足している」と回答</p>
教育GCF 単発活用層	教育分野に関するGCFを実施したことがある	<p>■継続的な財源確保</p> <p>以下の3分類に整理された。</p> <p>①継続的な財源確保に課題がある自治体</p> <p>②そもそも継続的な実施を目指していない自治体</p> <p>③実施し始めたばかりでまだ継続できていない自治体</p> <p>■教育GCF実施における課題・ハードル</p> <p>教育におけるビジョンが明確になっている自治体は比較的多いが、体制不足を課題に挙げる自治体は約7割と他Tier同様多かった。</p>
GCF実施層	GCFを実施したことがあるが、教育分野に関するGCFを実施したことがない	<p>■教育GCF実施における課題・ハードル</p> <p>対象自治体のうち半数以上が、以下を課題に挙げた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動ける人員が不足している（75%） ・伸ばす学びにおける方針や取り組みが明確になっていない（63%） ・どの事業に集めるのか決められていない（63%） ・財政部署やふるさと納税担当部署との連携ができていない（50%）
関心層	GCFを実施したことがない、今後教育におけるGCFの利用を検討している	<p>■教育GCF実施における課題・ハードル</p> <p>GCF実施層と同様、対象自治体のうち半数以上が以下の点を課題に挙げた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動ける人員が不足している（75%） ・財政部署やふるさと納税担当部署との連携ができていない（63%） ・伸ばす学びにおける方針や取り組みが明確になっていない（50%） <p>さらに、関心層特有の傾向として、ノウハウ不足・関係部署のGCF理解不足も課題として挙げた。</p>

自治体のGCF活用ロードマップ



月	この時期の 大きなタスク (主語＝教育委員会)	教育委員会			首長部局			
		教育長	教育委員会	学校現場	企画課	財務	ふるさと納税担当	トラストバンク
4月-6月	○この時期の目的 ○大きなタスク ・課題と施策の整理 ・目玉事業の選定 ・学校の現場との調整 ・企画書の作成	企画決定 <small>※教育長からだけでなく教育委員会から採択提案、企画決定を行う場合も有り</small>	企画決定 <small>※教育長からだけでなく、教育委員会から採択提案、企画決定を行う場合も有り</small>					
			現場にアレンジや調整	教育委員会との連携				
			企画検討					
7月-9月	○この時期の目的 GCF実施における同意調整 ○大きなタスク ・首長部局の企画課への企画提出 ・市長、財政課へのレク ・運営予算と分けて実施する目的の行内に対する同意調整		予算と企画に関する相談					
				教育委員会から首長部局へ相談 <small>調整予算とは別立て 予算をつけた事業とするかをこのタイミングで企画課が検討する</small>				
				市長へのレク				
10月-12月	・より詳細な財源の調整 ・議会への申請 ・議案承認後のふるさと納税課に実施の旨と具体進行を進めるよう庁内で意思決定をする ふるさと納税課が中心となりGCFページ用の資料集めやテキスト集め、ページ構成の作成等を実施する					事業化・予算化に向けた議論		
						既存予算からの充当検討 ふるさと納税の取組からの充当を検討 追加の予算確保手段としてGCFを検討		
						議会申請 議会で承認された後正式に予算が付き事業化	GCF実施に関する準備開始	企業内容の事前相談MTG
			ふるさと納税課とやり取り GCFページ用の写真素材の回収やテキスト集め等を実施				GCFの企画内容調整	担当アサイン 初回MTG
				GCFページ作成				
				庁内確認				
				プロモーション準備				
				GCFローンチ				

各ステップにおける取り組み内容を、「教育GCF継続活用層」である下記4自治体（神奈川県鎌倉市、愛知県日進市、京都府京丹後市、鹿児島県徳之島町）へヒアリング実施し、下記5ステップに分けて各自治体の取り組みをヒントとして整理した

0. 検討

1. 政策立案

2. 内部調整と
予算編成

3. ページ作成
とPR戦略

4. 政策実施



- **考えるポイント①: どうすれば教育ビジョンに沿いながら、教育現場の課題把握をしつつ打ち手と優先度を整理できるだろうか？**

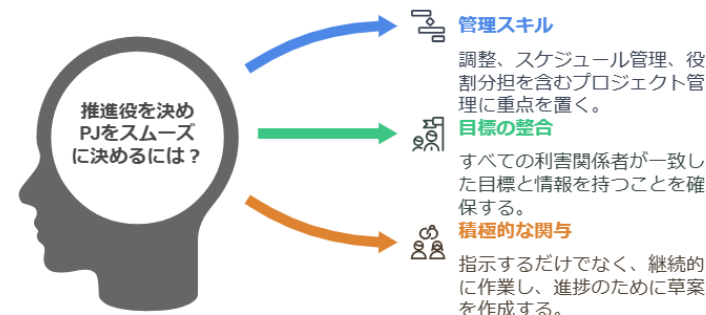
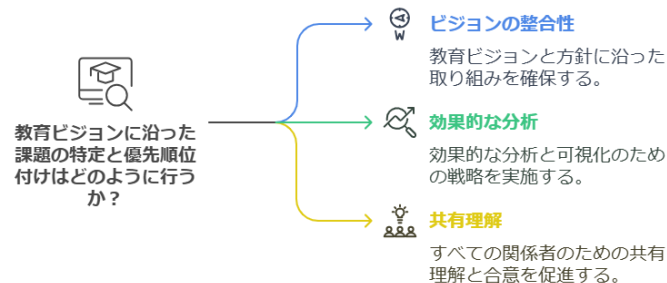
★ヒント

- 教育大綱や教育振興計画、各校の教育ビジョンや方針等を参考に、「育みたい人物像」「育みたい力」「注力したい学び方」「具体的な取り組み内容」を整理・分析、可視化することで関係者の共通認識をはかる

- **考えるポイント②: どうすれば推進役を決め、スムーズにプロジェクトを進めることができるだろうか？**

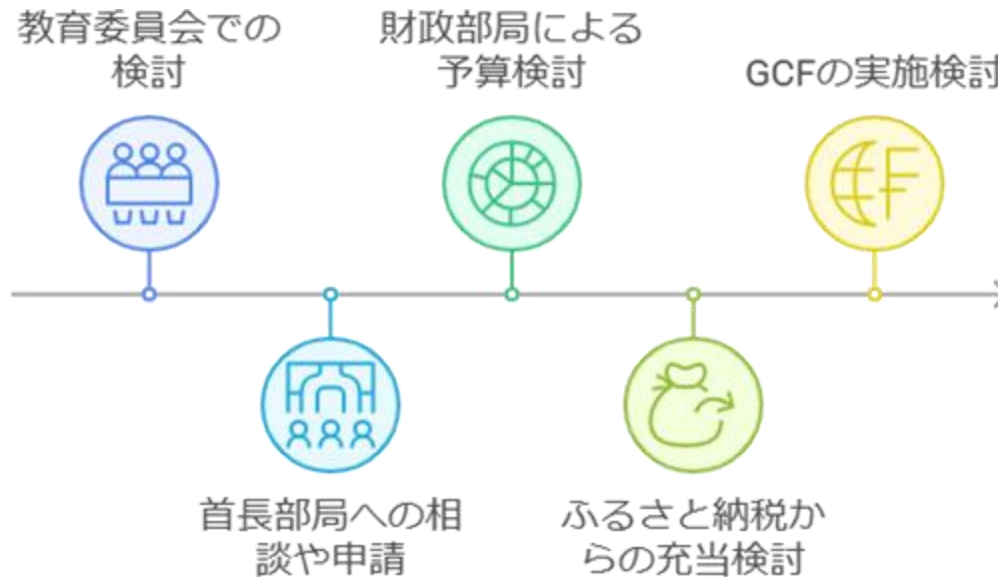
★ヒント

- 推進役に必要な力はGCFや教育の知識ではなく、プロジェクトマネジメント（調整、スケジュール管理、役割分担等）の力であることを理解する
- プロジェクト推進に必要な、関係者間での「目的の一致」と「誰もが同じ情報を常時共有する」状態を保持する
- 指示するだけでなく、ジェネレーターとして自ら手を動かす（例えば、荒くても良いので常にたたき台をつくり提示し続ける等）



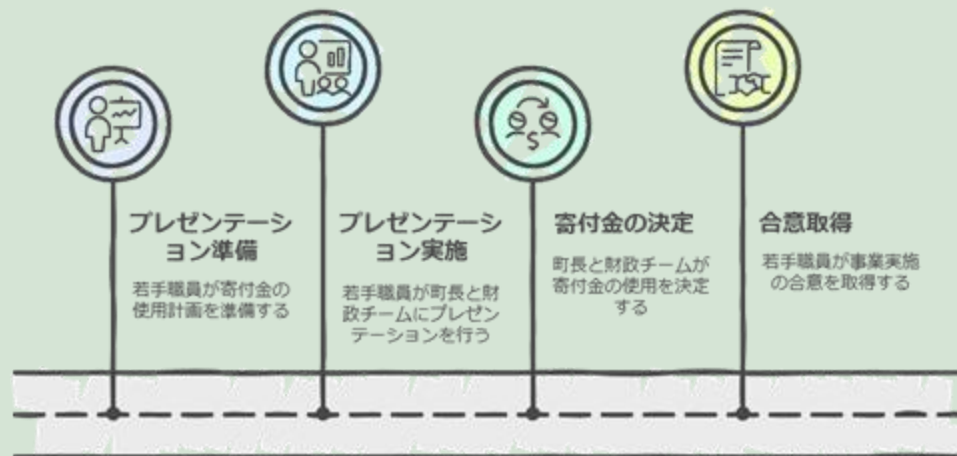
ステップ1. 政策立案

大まかな流れとしては各自治体概ね共通しており、教育委員会で施策に対する検討を行った後に首長部局へ申請（相談含む）を行い財政部局にて既存予算からの充当→ふるさと納税での充当検討→GCF検討、となる流れ

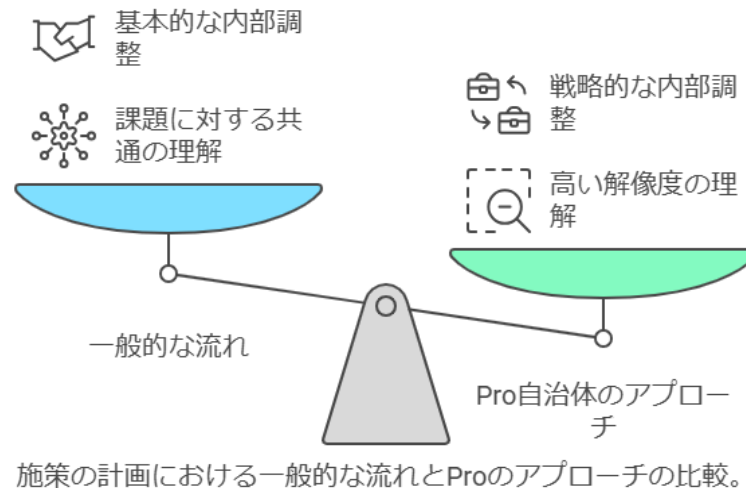


鹿児島県徳之島町様の事例

高校へのふるさと納税の寄附金の使い道を事前に若手職員の方から首長、財政へのプレゼンを実施する機会がありそこで採用されると事業実施の合意が得られる座組を採用



- 大まかな流れとしては、各自治体概ね共通、教育委員会サイドや事業実施課サイドで企画や施策を詰めていく
- 庁内調整するにあたって教育GCF継続活用層自治体は施策や各課題に対する解像度が高いことと庁内の関係セクションにも一定理解を得ながら進めていることが特徴的だった
- 予算編成時の具体進行は自治体毎で異なるため、次ページの事例などを参考にして欲しい



愛知県日進市様の事例

- 行政として預かっている税金で解決すべきものは一般財源の中から充当する方針で+アルファでやりたいことにGCFを活用
- 企画政策課を交えた事業実施計画を基に経常経費なのか新規事業としてかかるものなのかの判断の上各部署に調整を実施
- 新規事業にかかる予算を全てGCFで集めることはリスクが高いため、既存予算と上手く組み合わせ、事業がより推進することに活用

《ネクストゴール600万円に挑戦中!》学校に行けない・行かない子どもたちに教室以外の「居場所」を提供したい!

カテゴリー | 子ども・教育



寄付金額 **5,438,000円**

543.8%

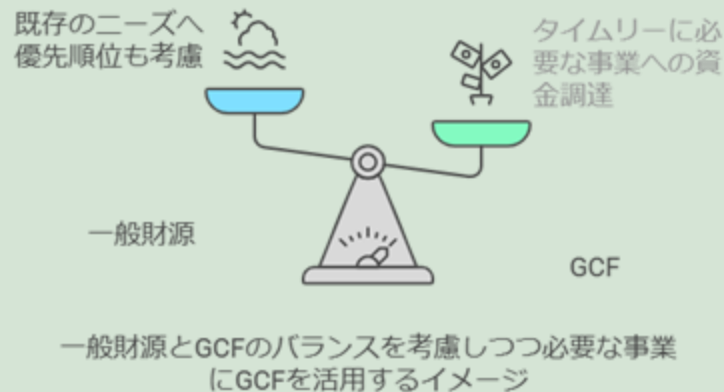
目標金額: 1,000,000円

達成率	支援人数	終了まで
543.8%	83人	受付終了

愛知県日進市(あいちけん にっしんし)

お気に入り

このプロジェクトは終了しました



神奈川県鎌倉市様の事例

- 原則市の総合計画、教育プラン・生涯学習プラン（教育振興計画の代替）に基づいて企画立案
- なお、企画立案の際にはGCFの活用を含めて検討する
- その後、予算要求に向けて見積取得等を行い11月～12月頃の査定の際に、財源も含めて議論する
- 予算化後、学校からプロジェクトの提案を受けプロジェクト実施を決定する

【第5弾】多彩なコラボレーションで市立小中学校にワクワクする教育を！～鎌倉スクールコラボファンド～

カキゴリー | 子ども教育

達成! 学びを、鎌倉の子どもたちに。

人材 × テクノロジー

鎌倉 スクールコラボファンド

寄付金額 **9,925,660円**

283.5%

目標金額: 3,500,000円

達成率	支援人数	終了まで
283.5%	28人	受付終了

神奈川県鎌倉市(かながわけん かまくらし)

お気に入り

このプロジェクトは終了しました

プロジェクト提案と予算承認プロセス



総合計画に基づくプロジェクトの立案

見積り取得と予算の議論

プロジェクト実施の決定

ページ作成

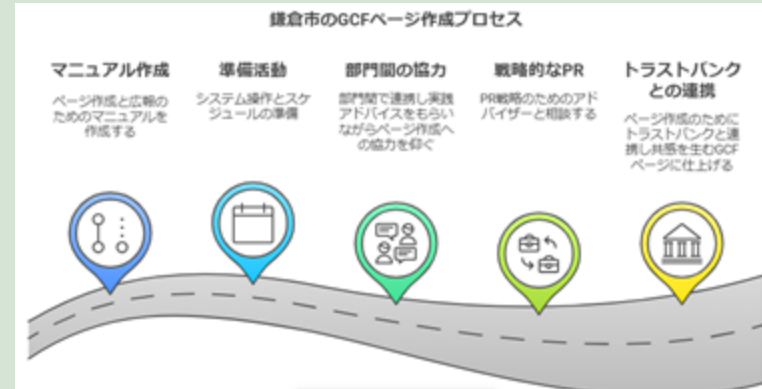
- 外部の協力を積極的に得ながら作業における不明点やノウハウを効率よく得ている印象
- いきなり外注するわけではなく、まずはセミナー参加やポータル担当者の勉強会等で理解を深めている
- そのうえで学校関係者と連携を図り素材を集める際は短期で一気集める等効率的に周囲を巻き込んでいる印象
- 素材集めなどのタイミングでは瞬間的に関わる人数が5-6名になる場合あり

PR戦略

- 頂いた寄附の透明性を担保するためにも発信を行うというマインドセットがされている
- 派手な打ち上げ花火的な手段ではなく、コツコツ地道に隙間時間を縫ってSNS発信等を徹底している印象
- 複数回GCF実施している自治体においては進捗情報投稿等を活用してリピーター獲得に成功している事例も

神奈川県鎌倉市様の事例

- ページ作成等や広報に関してはマニュアルを作成、担当が変わっても対応できるようにしている
- GCF立ち上げるまでの準備事項がメイン（システム操作方法、スケジュール、ページ作成のコツ）
- 事業担当課同士でどのようにやったのか聞いたりアドバイスしたりしている（進め方、SNS活用方法、掲載写真の許可取り方法など）
- 広報課に広報戦略アドバイザーがいるので、より効果的にPRする方法を相談できている
- 都度トラストバンクに聞きながらGCFのページ作成を進めた



京都府京丹後市様の事例

- 教育関連のGCFを初年度は品なしの寄附を軸として推進
- 集まった寄附金の中での事業履行の必要があるため、一定の金額は集めていきたいが寄附金を集める点で苦戦した背景有り
- そのため次年度は品連携有りで実施し目標達成
- 寄附導線としてはお礼の品からの流入が圧倒的に多い状況だったため、今後はGCFページからの流入をいかに増やし、取り組みを認識した上で応援してくれる寄附者を増やしていくかが課題



教育関連GCFの寄付戦略 共感者をどう増やすかが課題

共感からの寄付



品有りの寄付

品なしの寄付を集めるためには取り組みへの共感が大切。ここをどう増やすかを継続して検討中。

目標を達成し、GCFを促進するために効果的ではあるが課題もある。

- GCFで集めた寄附金を活用して事業履行した後進捗情報投稿を行うなど、活用に関する発信を実施
- 短期で成果が出にくい性質のものも多いため、単年度のみでは実感を得にくいですが、複数年度GCFと事業を実施し上記のようなコミュニケーションを図ることで寄附者と自治体との関係性が少しずつ生まれているケースがみられる
- そのため短期的な企画ではなく、中長期の目線で企画立案の上実行していくこと、実行した後のコミュニケーションをしっかり行うこと、というシンプルな流れが寄附者とのリレーション構築には重要

中長期的な関係構築サイクル

長期的な計画を立てる

戦略的な長期計画を立てる。

関係を育む

寄附者との関係を育てる。

プロジェクトを実施する

プロジェクトを開始し実行する。

進捗を共有する

定期的に更新と成果を共有する。



鹿児島県徳之島町様の事例

- 実際に集まった寄附金をどう活用したのかについて情報発信の実施
- Webの場合はGCFの進捗情報投稿機能を活用し丁寧に発信、お手紙を発送し一人一人に感謝を伝えるコミュニケーションも実施
- 結果としてPJや徳之島町様のスタンスに共感してくれる方が増えリピーター獲得にも寄与

高校生による徳之島の魅力発信プロジェクト「もっと青春を味わいたい!島の高校生が紡ぐストーリー」

カネゴリー(子ども)教育

寄付金額 **5,764,000円**

288.2%

目標金額: 2,000,000円

達成率	288.2%	支援人数	476人	終了まで	受付終了
-----	--------	------	------	------	------

鹿児島県徳之島町(かごしまけん とくのしまちょう)

お気に入り

このプロジェクトは終了しました

新たな特産品「よもぎもち〜」をお申込みいただいた寄附者様へ発送しました。



この度は鹿児島県徳之島町GCF「高校生による徳之島の魅力発信プロジェクト「もっと青春を味わいたい!島の高校生が紡ぐストーリー」」にあたたかい応援をいただき誠にありがとうございました。高校生が考えた新たな特産品「よもぎもち〜」が完成し、本日、ご希望いただいた寄附者様へ発送をさせていただきました。

寄附者様には、お伝えしていた配送時期より返礼品の発送が大幅に遅れて誠に申し訳ございませんでした。

島の高校生が考えた、新しい特産品を、応援いただいた皆様に味わっていただければ幸いです。

たくさんのお申込みをいただき、おぼろだれん。(ありがとうございます)

鹿児島県徳之島町ふるさと納税担当 堀 貴久

このプロジェクトへの応援メッセージ

いつも広報誌を送っていただき有難うございます。毎回楽しみに読んでます。これからも元気な街であってください。

2024年1月16日 5:53

毎年応援させていただいています。高校生の活躍機会の創出しながら高校生を楽しく応援できるこのプロジェクトが続いていきますように。

2023年11月29日 21:18